

■新年のご挨拶■

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜びを申し上げます。また、平素より建築士会北見支部活動に格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、コロナウィルス感染対策とするワクチン接種が進むなか、重病化予防としての成果はあるものの、感染する可能性があるという状況が続いており、マスクの適切な着用や換気の徹底など、場面に応じてしっかりと感染防止対策をしながらの社会活動となり、また一方で、ロシア軍によるウクライナへの軍事進攻による世界経済の停滞があり、地域経済にも多大な影響を及ぼし、先が見通せない一年でありました。

当支部におきましては、昨年同様、会員の皆様、そして参加される方々の安全確保等の観点から、ビールパーティや子供絵画コンクールは中止せざるを得ませんでした。各種講習会、北見工業高校への住教育出張講座、市内公共施設の現場見学会、支部ニュースで情報発信や会員をつなぐ「会員紹介コーナー」の連載など実施したところです。

本年もコロナの収束状況下で、まだまだ心落ち着きませんが、国は、ウィズコロナに向け、新たな行動制限を行わず、感染状況等をしっかりモニタリングしながら、感染拡大防止と社会経済活動との両立を図ることとしており、当支部活動も、社会経済状況や生活環境に合わせて、事業の在り方や改善策等を模索しながら、しっかりと活動してまいりたいと考えておりますので、引き続き、会員の皆様のご協力、ご支援、ご参加を心からお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい年となりますようにご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

北見支部長 因 芳 広

■重要■令和5年 (一社)北海道建築士会北見支部総会のお知らせ

下記の日程で(一社)北海道建築士会北見支部総会を開催いたします。

先月号同封の出欠ハガキを令和5年1月13日(金)までに、北見支部事務局((株)清和設計事務所)まで送付願います。

都合悪く欠席される場合は、出欠ハガキの委任状欄にお名前の記入をお願いします。

【日 時】	令和5年1月21日(土)	女性部会総会	15:00より
		青年部会総会	15:30より
		支部通常総会	16:00より
		支部懇親会	17:30より
			(会費:1人3,000円)

【場 所】ホテル黒部(北見市北7条西1丁目1番地)

※裏面もご覧ください※

《会員紹介コーナー》

親 会

『 エクセルは魔法の紙だ！！ 』
執筆者 河端 健 （訓子府町役場 勤務）



世の中メタバースやらDXなどと騒がれておりますが…

私が就職したのはウィンドウズ95が鮮烈にデビューした年でしたが、そのころ職場ではまだ全て手書きで図面を引いていました。

ウィンドウズ98の頃に自分にもPCがあてがわれ、教本を片手に初めてCADを使うようになりましたが、これまで用紙の裏からガラスウールの表現（もにゃもにゃ）をひたすら書き込んだり、字消し板を使ってチマチマ線を消したりしていたものが、任意の箇所を一瞬で消せたり、連続してコピーできたり、スケールで測ることなく任意に線が引けたりと、いちいち感動していたことを思い出します。

また、設計内訳書も当時は手書きか、せいぜいワープロで見栄え良く感熱紙（もはや死語）で出力する程度でしたが、エクセルを使えるようになると、これまで数量を修正する際には「数量×単価」を電卓で弾き直して金額を記載し、合計額や諸経費も同様に修正していたものが、修正箇所の数量を打ち替えるだけで設計価格まで自動計算してくれるので、「エクセルは魔法の紙だ！！」と心から思ったものです。

それからはというと、さほど進化することなく現在に至っておりますが、デジタル化の波に取り残されないように頑張っていきたいと思えます。

最後になりますが、今年もコロナにより残念ながら建築士会のビールパーティーが中止されましたが、毎年7月第2週の土曜日は、私は訓子府町のお祭りのほうに出役しております。出席できていないことを書面にてお詫び申し上げます。今年は開催されるといいですね。

女性部会

『 家の物について 』
執筆者 岡村 真由美 （尙高橋工務店 勤務）



設計の仕事に携わり十数年が経ちました。昨今、新築住宅は十年前と比べると坪単価が跳ね上がり、35坪以下のコンパクトな住宅も増えているように思います。家が小さくなるとデメリットもありますが、総工費、光熱費、税金、メンテナンス費用が安くなる、掃除が楽などメリットも多いです。

私生活では旅行が趣味でしたが、コロナ禍で読書をする時間も増え、「ミニマリスト・断捨離」などの本をたくさん読むようになりました。ミニマリストとは必要最低限の物で生活する人のことです。本の中には家中の持ち物が載っていましたが、本当にこれだけで生活できるのかという量、それに対し、我が家は物を買すぎ持ちすぎていることで片付かずストレスになっている事に気づき、物一つ一つと向き合うようになりました。

リノベーションをされるお客様の中には、老後大きな家を持って余している方、物を持ちすぎてリノベーションに取り掛かるまでに断捨離が必要な方もいらっしゃいます。ネットや買い物などに行くと誘惑も多いですが、日ごろから使わないものは持たず小さく暮らす、物を持たなくても幸福感が得られることが大事だと、仕事を通して痛感しています。

家が完成するまで大変なことは多いですが、お客様の笑顔を見ると、この仕事のやりがいと喜びを感じます。